

## 1. 基本目標

圏域住民一人ひとりが、心豊かに生きがいを感じ、絆づくりと互助・共助による活力があるコミュニティ形成を目指し、生涯を通じて自立・協働・創造に向けた学習活動を展開する中で、視聴覚教材センター（あずなびあ）では、各世代が様々な学習ニーズに応じて利活用できる視聴覚教材・機材を整備し、さらに、地域に根ざしたテーマに基づく視聴覚教材制作を進めて、郷土愛、創造力豊かな人材育成を図ることで、圏域住民一人ひとりの生涯学習活動の更なる充実をめざす。

また、GIGAスクール構想の推進などによる学習ニーズの変化に応えるため、事業内容の見直しを図るとともに、今後の視聴覚教材センターの在り方についても引き続き調査・研究を行う。

## 2. 重点実践事項

<p style="text-align: center;"><b>視聴覚教育の充実</b></p> <p>○各種講座及び学習機会提供事業 新しい知識や技術の習得を目指し、外部講師を招いた研修など、内容の充実を図るとともに、学習ニーズの拡大に対応した学習活動を支援する。</p> <p>○視聴覚教材・機材の整備及び貸出事業 視聴覚教材・機材を適切に整備し、学校教育及び社会教育における学習活動場面での効果的な利用促進を図る。</p>	<p style="text-align: center;"><b>地域映像の保存記録</b></p> <p>○地域学習教材制作の促進と保存事業 地域素材を生かした自作視聴覚教材制作の支援と、インターネット配信なども活用した利用促進を図り、地域学習の教育的な効果を高めるとともに、自作視聴覚教材のデジタル化と保存に努める。</p>
<p style="text-align: center;"><b>各種関係団体との連携</b></p> <p>○各種関係団体との連携事業 学校教育及び社会教育関係、各地域の団体等と連絡提携を密にし、視聴覚教材センターの機能充実と生涯学習体制の推進を図る。また、GIGAスクール構想など、新たな学習要求に応えられるように、情報提供や外部講師を招いての各種研修会など学習機会の充実に努める。</p>	<p style="text-align: center;"><b>事業内容の調査・検討</b></p> <p>○視聴覚教材センターの現状と課題 視聴覚教材センターの事業について、アンケート調査、視聴覚教育指導員会議や学校・社会教育専門部会での話し合い、視聴覚教材・機材利用者の様々な意見の集約等を組み合わせながら、圏域住民の学習要求に対応できるように、引き続き内容の検討・見直しを図る。</p>

## 3. 事業活動

### (1) 各種講座及び学習機会提供事業

#### ① 出前d e あずなびあ（出前講座）

- (1) ねらい 視聴覚教材センターの各種講座に各々の理由で参加することができない圏域住民の方々に対して、当センターの職員が出向き、住民の細かな要望に対応した講座を開催していくことで、認知度を高めつつ、圏域住民の方々のパソコン関係や機材の知識、操作能力の向上を図る。
- (2) 期 日 希望の日時（申し込み制）
- (3) 場 所 開催場所は申し込み者自身で準備する。  
（パソコンは最大6台、タブレット端末(iPad)は最大10台用意可能。）
- (4) 対 象 圏域内在住者又は勤務者。参加者3名以上。



# 第1章 視聴覚教育計画

## (1) 各種講座及び学習機会提供事業

当センターで開催できる出前講座

講座名	趣旨・内容
かんたん！ タブレットの使いかた	あずなびあ所有のタブレット(iPad)を操作し、基本的な機能の操作方法を学びます。
ビデオ通話アプリの使い方	タブレット(iPad)やパソコンを使ったビデオ通話のやり方を学びます。
プログラミングに挑戦！	プログラミングロボット「SpheroMini」を使用してプログラミングを学びます。
タブレットを使用した ショートムービー作成講座	タブレット(iPad)の操作及び効果的な活用やビデオを編集するための知識を学びます。
GoPro 活用術！ デジタルビデオカメラ活用術	GoPro を中心にデジタルカメラの操作及び効果的な活用やビデオを編集するための知識を学びます。
ネット・SNS講座	ネットショッピングなどを利用する際の注意点や、SNSの使い方、使う際の注意などの知識を学びます。

◆そのほか、パソコンを使った写真・ビデオ編集講座、プレゼンテーション講座、デジタルカメラの使い方講座、プロジェクター活用術講座、16ミリ映写機操作技術講習会等開催。

◆各種出前講座は、申し込み者の要望に合わせ、対象者をシニア向けや初心者向けに絞って開催することもできます。

## ② おでかけ！あずなびあ！

(1) ねらい 「協働教育」の必要性が高まっている昨今において、仙南地域の各教育機関、福祉ボランティアグループ、高校の文化部、第一線で活躍するアーティストなどと連携し、感受性豊かな子どもたちが視聴覚教材などに触れ、さまざまな体験活動を通し、地域の将来を担う子どもたちの情操を育む事業として「おでかけ！あずなびあ！」を実施する。

(2) 期 日 希望の日時（申し込み制）

※新型コロナウイルスの影響により、変更となる可能性があります。

(3) 場 所 希望のあった場所

(4) プログラムメニュー（例）

○楽器体験コーナー（ヴァイオリン、ギター、吹奏楽器 etc）

○パネルシアター・紙しばい読み聞かせコーナー

○消火器体験コーナー

○ニュースポーツ体験コーナー

○だれでもかんたん作曲体験コーナー

等

※ご要望に合わせてプログラムメニューをご紹介します。



## ③ 主催講座

## ○初心者にやさしい かんたん！ビデオ講座

- (1) ねらい パソコンやタブレット、ビデオカメラ等の操作が苦手な圏域住民の方々をメインターゲットとし、基礎的な操作方法、複数の画像や動画を組み合わせた動画制作の方法を学ぶ機会を提供し、自作視聴覚教材を制作するための知識や技術を習得してもらう。
- (2) 対象 圏域内在住者又は勤務者
- (3) 会場 仙南芸術文化センター（えずこホール） 会議室

内 容	A日程（PC）	B日程（iPad）	時間
1. 撮影の基礎	5月 7日（土）	6月 11日（土）	13:00～15:00
2. 仙南地域の映像作品の鑑賞	5月 14日（土）	6月 18日（土）	
3. アプリで編集してみよう	5月 21日（土）	6月 25日（土）	

## ○上級者向けビデオ撮影・編集講座（仮）

- (1) ねらい パソコンやタブレット、ビデオカメラ等がある程度使える方を対象とし、応用的な操作方法や編集技術を学ぶ機会を提供し、より高度な自作視聴覚教材を制作するための知識や技術を習得してもらう。
- (2) 期 日 10～11月頃予定
- (3) 対象 圏域内在住者又は勤務者
- (4) 会場 未定

## ○ライブ配信講座

- (1) ねらい 教材センターの機器を使用したインターネットでのライブ配信のやり方や機器の操作方法を習得してもらい、教材センター機器の利用促進を図る。
- (2) 期 日 未定
- (3) 対象 圏域内在住者又は勤務者
- (4) 会場 未定

## ④ あずなびあまつり（仮）

- (1) ねらい 圏域住民の方々に視聴覚教材センターをより身近に感じていただき、さらなる利用者の拡大と利用率向上を目的の一つとして開催する。仙南圏域のたくさん子どもたちや大人の方々に来場していただき、当センターのブースでは、所有している教材を体験してもらうことで、視聴覚教材の良さを改めて理解していただけるように努める。
- (2) 期 日 令和4年 9月25日（日）
- (3) 場 所 仙南芸術文化センター（えずこホール）



# 第1章 視聴覚教育計画

## (1) 各種講座及び学習機会提供事業

### ⑤ あずなびあフリースクール

- (1) ねらい 圏域の子どもたちを対象に、視聴覚教育教材を活用した無料講座を開催し、視聴覚教材センターの認知度を高めつつ、ICT教育やプログラミング教育教材を活用し、地域の将来を担う子ども達の能力向上を図る。
- (2) 対象 圏域内在住の小学生・中学生
- (3) 期 日 年3回程度（調整中）

## (2) 視聴覚教材・機材の整備及び貸出事業

### ① 視聴覚教材・機材の貸出

#### (1) 視聴覚教材の貸出

##### ①視聴覚教材の貸出方法

来 所	視聴覚教材センターの窓口で教材の貸出を行う。
宅 配	申込みをした団体等に宅配で搬送する。（原則平日対応） *宅配の経費は当センターで負担します。
公民館巡回	利用者の利便を図るため、毎週木曜日に各市町の公民館・文化会館・生涯学習センター等に搬送する。

- ②貸出期間 期間は原則として7日以内（使用後は速やかに返却）。  
貸出本数は1度につき、原則10本以内。利用報告書に必要事項を記入し提出。

##### ③教材保有状況（令和4年4月1日現在）

DVD 教材	VHS 教材	16ミリ フィルム教材	紙しばい教材	シアター教材	CD 教材	プログラミン グ学習教材
914本	659巻	330巻	316巻	39組	4組	11組

(2) 視聴覚機材の貸出

① 視聴覚機材の貸出方法

貸出方法は来所（視聴覚教材センター）のみ。

② 貸出期間

期間は原則として7日以内（使用後は速やかに返却）。利用報告書に必要事項を記入し提出。

③ 貸出機材

新規購入機材

区分	台数	機材名
その他の機材	2	Bluetooth スピーカー (JBL PARTYBOX100)

既存機材

区分	台数	機材名	
オンライン配信用機材	1	配信用機材1式 (スイッチャー、配信機器、ケーブル類)	
タブレット端末	11	iPad(10.2インチ) 第7世代：7台、第8世代：4台 ※出前講座時のみ貸出	
プログラミング学習教材	11	SpheroMini ※出前講座時のみ貸出	
液晶プロジェクター	9	LP-XP45(3,500ルーメン)	KG-PH1002WX(3,700ルーメン)
		EDP-4800(2,000ルーメン) 2台	EB-1940W(4,200ルーメン)
		TDP-T420(4,000ルーメン)	PT-VW355NJ(4,000ルーメン) 3台
スクリーン	12	三脚式 80インチ(1.2m×1.6m) 2台	
		ローラー式 170インチ	組立式 170インチ(2.6m×3.6m)
		布式 125インチ(2.6m×1.9m) 2枚	暗幕 (1.5m×1.8m) 3枚 (1.8m×2.0m) 3枚
		直置引上げ式 80インチ(1.2m×1.6m) 2台、83インチ(1.3m×1.8m) 100インチ(1.5m×2.0m)2台、103インチ(1.6m×2.3m)	
映像再生機器	5	DVD プレーヤー3台	ブルーレイディスクプレーヤー (BDP-X300)2台
ビデオデッキ	2	WV-DR9(DV・ミニDV・S-VHS 一体型) 2台	
ビデオカメラ	3	4K 対応デジタルビデオカメラ(GY-HM200)	4K 対応デジタルビデオカメラ(FDR-AX45)
		GoPro	ビデオカメラ三脚 3脚
ビジュアルプレゼンター	2	EV-601AF	MO-1
その他の機材		スピーカーセット(BOSE)	ポータブル PA パック
		マイク 集音マイク(ECM-GM3) 2本	スライド映写機 メタルハライドタイプ (SLD-260M)

<主な機材>

			
液晶プロジェクター	直置引上げ式スクリーン	iPad	ブルーレイプレーヤー
			
GoPro	ビジュアルプレゼンター	オンライン配信用機材	

## 第1章 視聴覚教育計画

### (2) 視聴覚教材・機材の整備及び貸出事業

#### ① 学校教育・社会教育専門部会における教材選定

- (1) ねらい 視聴覚教材センター専門部会の設置及び運営規則（第1条第3項）に基づき選出された各市町の学校教育専門部員及び社会教育専門部員により、学校教育、社会教育に活用できる教材を選定する。
- (2) 期 日 学校・社会教育専門部会 令和4年11月中旬ごろ
- (3) 会 場 未 定
- (4) 内 容 ①学校教育専門部会では理科、社会、その他の教科の班に分かれ、教材を選定する。  
②社会教育専門部会では、A領域（幼児・少年、青年教育）とB領域（成人・婦人・高齢者）に分かれ、教材を選定する。

### (3) 地域学習教材制作の促進と保存事業

#### ① 仙南ふるさとC-M（コミュニティ・メディア）グランプリ

仙南地域各所にある歴史、文化、施設、伝統行事、民俗芸能などを多くの方々を知ってもらうため、それらに関する映像作品または紙しばい作品を募集することにより作品制作を促し、郷土愛や創造力豊かな人材を育成することを目的に開催する。

##### ◆作品の出品について

- 部 門 ・教材部門  
ショートムービー部門（5分未満）、ムービー部門（5分以上）、紙しばい部門  
・記録映像部門
- 条 件 未発表のオリジナル作品であること。題材は仙南地域広域圏に関する事柄であること。営利を目的とした作品ではないこと。使用音源等は著作権をクリアしたものであること
- 締 切 令和5年 1月27日（金）

##### ◆発表会・表彰式について

- 期 日 令和5年 3月11日（土）
- 会 場 仙南芸術文化センター（えずこホール）
- 記念品

	ショートムービー部門 記録映像部門	ムービー部門 紙しばい部門
最優秀賞	図書券 2,000 円	図書券 5,000 円
優秀賞	図書券 1,000 円	図書券 3,000 円

#### ② 地域映像の保存と自作視聴覚教材制作への支援

仙南地域で失われつつある記録の少ない地域の伝統芸能等（祭り、伝説、神話、民話、伝統芸能、習俗等）を映像に記録・保存したり、地域映像を制作したりする意欲のある団体や個人に視聴覚教材センターの職員が助言や編集の支援を行う。

- ◆映像編集ソフトの利用（来所のみ）については、事前に電話等での申し込みが必要。
- ◆機材等の操作でわからない点については、担当職員が支援を行う。

## ③ 自作視聴覚教材のデジタル化

視聴覚教材センターでは現在までに制作された地域の学習教材、いわゆる自作視聴覚教材の保存、貸出を行っている。その教材の題材になっているものの中には、生活様式及び価値観の変化、さらには過疎化や高齢化の進展等から、その継承が困難になっているものも多くみられる。

そこで、当センターでは、アナログ教材をデジタル教材に「デジタル化」することで失われつつある地域文化を保存・継承し、地域文化の保存のための取組みを推進していく。

## ① 諸会議関係

## 〈1〉 視聴覚教育指導員会議

回	期 日	内 容	備 考
1	4月21日(木)	・視聴覚教育指導員の任務等について ・令和4年度視聴覚教育事業計画について ・令和3年度視聴覚教育事業の実施状況について ・あずなびあまつり(仮)について ・仙南ふるさとC-Mグランプリ出品作品の制作について	
2	6月 8日(水)	・視聴覚教育事業の経過について ・あずなびあまつり(仮)について ・仙南ふるさとC-Mグランプリ出品作品の制作について	
3	7月22日(金)	・視聴覚教育事業の経過について ・あずなびあまつり(仮)について	
4	9月22日(木)	・あずなびあまつり(仮)について(最終調整)	
	9月25日(日)	・あずなびあまつり(仮)当日	
5	11月11日(金)	・視聴覚教育事業の経過について ・令和5年度視聴覚教育事業計画(案)について ・仙南ふるさとC-Mグランプリ出品作品の制作について	
	11月中旬	・学校・社会教育専門部会(社会教育部門参加)	
6	3月11日(土)	・仙南ふるさとC-Mグランプリ上映会 ・令和5年度視聴覚教育事業計画(案)について(最終調整)	

## 〈2〉 学校・社会教育専門部会

期 日	内 容	備 考
11月中旬	・視聴覚教材(DVD教材)の選定等	

〈3〉 社会教育等主管課長会議

回	期 日	内 容	備 考
1	5月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度視聴覚教育事業及び仙南広域圏の振興発展に資する事業の実施状況及び仙南芸術文化センターの事業実施状況について</li> <li>・令和3年度教育費決算及び仙南芸術文化センター特別会計決算について</li> </ul>	
2	11月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度教育に関する事務の点検・評価について</li> <li>・令和5年度視聴覚教育事業(案)、仙南広域圏の振興発展に資する事業計画(案)及び仙南芸術文化センターの事業計画(案)について</li> <li>・令和5年度教育費予算(案)及び仙南芸術文化センター特別会計予算(案)について</li> </ul>	

② 広報活動

- (1) ねらい 視聴覚教材センター事業の案内と、教材・機材の利用促進、視聴覚教育に関する情報提供を行い、視聴覚教材センターの活動の広報を図る。
- (2) 種 別
- ◆視聴覚教材センターだより（あず Navi）の発行（年6回）
  - ◆仙南地域広域行政事務組合教育委員会要覧の発行（年1回）
  - ◆視聴覚教材センターのしおりの発行（年1回）
  - ◆視聴覚教材題名一覧表の発行（年1回）
  - ◆視聴覚教材センターホームページ、Facebook、Instagram による情報発信
  - ◆その他視聴覚教育に関する資料の発行（随時）
- (3) 内 容
- ①視聴覚教育に関する事業（研修会講習会等）の情報提供
  - ②視聴覚教材・機材の紹介に関する情報提供
  - ③視聴覚教材・機材の利用促進に関する情報提供
  - ④その他視聴覚教育に関する情報提供
- (4) 配付先
- 各市町教育委員会
  - 管内小・中・高等学校・特別支援学校
  - 幼児施設
  - 幼稚園、保育所(園)、児童館(センター)、こども園
  - 各市町公民館
  - 福祉施設
  - その他

③ 現場訪問事業

- (1) ねらい 視聴覚教育指導員と共に、圏域の各種施設を訪問しコミュニケーションを図ることで、現場で求めるニーズを調査し、今後の事業に活用するとともに提供できるサービスを宣伝することで視聴覚教育指導員および圏域関係施設との関係強化と視聴覚教材の利用促進を図る。
- (2) 期 間 令和4年5月～12月（学校教育機関係を中心に）
- (3) 内 容 視聴覚教材センター利用案内及び事業の紹介



**① 調査・検討**

- (1) ねらい 情報教育や英語教育が必要とされる今、事業内容の見直しを図るため、引き続きニーズ調査を行うとともに、様々な意見の集約等を組み合わせ、圏域住民の様々な学習ニーズに対応できる、今後の視聴覚教材センターの在り方について検討したものを実践し、データの分析を行う。
- (2) 期 間 令和4年4月～12月
- (3) 内 容 視聴覚教育指導員、学校・社会教育専門部員、学校教育・社会教育関係団体へのアンケート調査の実施  
視聴覚教育指導員会議、学校・社会教育専門部会での話し合い  
小教研・中教研との連携や、現場訪問事業による聞き取り、ニーズの把握  
視聴覚教材・機材利用者の視聴覚教材センターへの意見の集約  
今後の視聴覚教材センターの在り方、あるべき姿についての検討・データ分析